



サルビア

～より安全・安心な学校を目指して歩み続ける～ 伊勢崎市立赤堀東小学校 令和6年9月27日 第47号

P-room(ピールーム)が整いました。始動します。

サルビア第34号(7月10日付)で紹介し、準備を進めておりましたP-roomが、使える状態に整いました。改めて保護者の方々にP-roomの趣旨をご理解いただくとともに、学校が子どもたちにとってより安心できる場になるよう職員一同努力してまいります。

1 P-roomとは

- ◎ 教室に入れないでいる児童が、気持ちの安定を図るとともに、心のエネルギーを高め、自己表現や自己決定ができるようになるため、静かに過ごすための時間や空間を確保するための居場所です。
※『静かに』には、音量の大小だけでなく、自分の気持ちと向き合う状態の意味も含まれます。



2 どのように使っていくか?

- (1) 保護者の方には、お時間が許す場合は、なるべく一緒にいていただきたいです。お子さんの不安感を軽減できると思います。
- (2) お子さんが、思ったことを話せたり自分で決めたことに取り組んだりさせたいと思います。保護者の方は、趣旨を尊重いただき、ゆったりと見守っていただけるとありがたいです。
- (3) 備えてある遊び道具は、お子さんの硬くなった気持ちをほぐし、心のエネルギーを高め、自分らしい表現ができるようになるための手立てとして活用したいと考えています。
- (4) 教室に無理に戻そうとすることはせず、気持ちのエネルギーの高まりを第一の目標とします。
※友だちが迎えに来ることにより一緒に休み時間を過ごし、その流れで教室に戻るなど、その子に合った対応を工夫したり、保護者の方にご相談させていただいたりすることはあります。
- (5) ふれあいのために友だちが入室することはありますが、子どもたちにはP-roomの趣旨をあらかじめ説明し、使い方の理解を求めます。
※自由に遊びたいとか、騒ぎたいといった趣旨の部屋ではないこと。
- (6) 保護者の方が付き添えなかった場合は、お子さんのP-roomでの様子について、適宜お伝えします。



3 P-roomがより効果的な場になるために

○所属する学級が、児童にとって、より心の平穏が保てる居場所となるように、様々な角度から学習環境づくりに努力していきます。